

議会はこう見る!

令和4年度

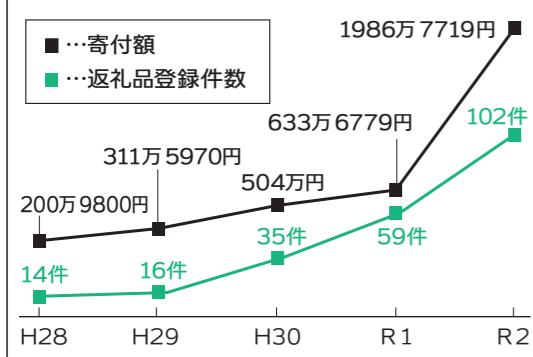
一般会計当初予算

93億7800万円

1 予算編成における
経常経費の削減

2 まちづくり寄付金
(ふるさと納税)

DATA 小川町ふるさと納税寄付額と
返礼品登録件数 (H28年～R2年)



※総務省ふるさと納税ポータルサイトより
※ふるさと納税は個人からの寄付が対象であり、
企業からの受入もある町歳入予算のまちづくり
寄付金と金額の相違があります。

寄付額や返礼品の登録件数は伸びている。一方、町民が他自治体へ寄付することによる税収減額も大きい。町外に出ていく額をどう減らしていくか町民の理解を得たい。



Gikai's
E Y E

ふるさと納税の額が大きくなるのはうれしい。地元の商工業の活性化と観光客増に期待したい。
吉野光一さん(錦町)



次のページは議員の注目事業



近所で車のない方が「500円で目的地に行く」と喜んでいました。
私も今の制度が良いと思います。
佐藤良行さん(東小川2丁目)

財源確保の取組

安心して暮らせる持続可能なまち

3つの柱

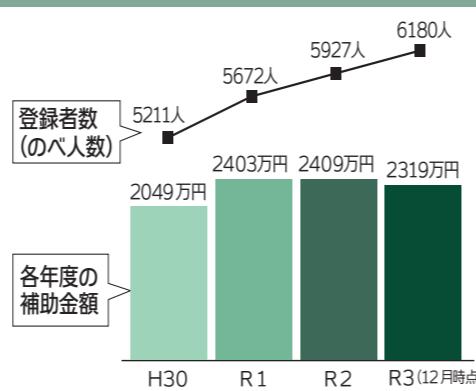
1 橋りょう
維持事業

1億5230万円

2 路線バス、
デマンドタクシー
運行事業

3237万1000円

DATA デマンドタクシー登録者数と
補助金額の推移



令和3年度の利用件数はコロナ前の水準まで回復しつつある。令和元年10月の消費税増税と令和2年2月のタクシー運賃改定により、町の負担額は増加傾向にあり、今後住民サービスを低下させず、継続するためには、どのようにしたら良いか検討が求められる。

2年前に移住しました。
近所の方が子育てを見守ってくれる安心感もあり、のびのび子育てできています。
今村結衣さん、糸葉さん(春日町)

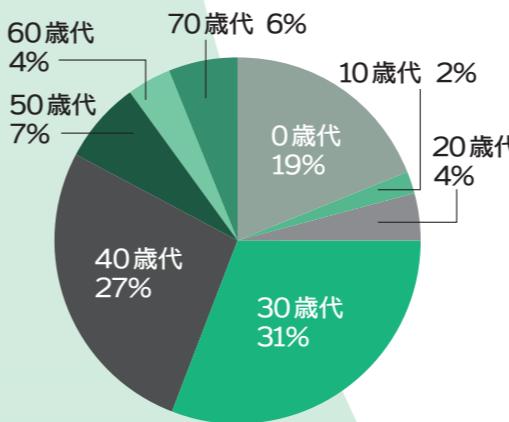
様々な施策により、蒔いた種が確実に実を結び始めています。令和4年度当初予算で定めた「3本の柱」を太く折れないものに育て、更なる町の発展につながると期待しています。

1 新しい生活様式に
対応した七夕まつり
環境整備事業 341万円

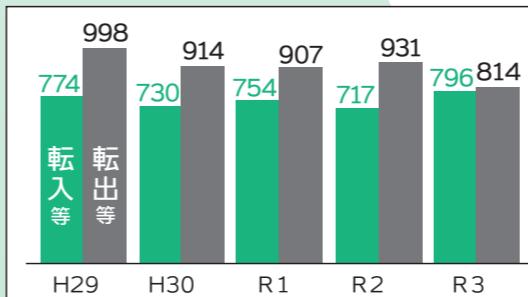
2 子ども家庭総合支援
センター事業 315万円

3 学校給食センター
整備事業 250万円

DATA 令和3年度小川町への移住者の年齢別の割合



小川町の転出入数 (H29年～R3年)



令和3年度は1月末まで10年ぶりに転入超過となっていたが、最終的に18人の転出超過となつた。移住サポートセンターの年齢別データでは、移住者の半数以上が40代未満の若い世代となつていて、この流れを後押ししたい。

2年前に移住しました。
近所の方が子育てを見守ってくれる安心感もあり、のびのび子育てできています。
今村結衣さん、糸葉さん(春日町)

3つのピックアップ事業

1 東小川住宅地内
学校跡地利活用推進事業

1億5903万円

国のデジタル田園都市国家構想推進交付金7245万円の財政確保ができた。全国的に注目の官民連携による「学校跡地利活用推進事業」がスタート。住民要望を考慮し、心の支えである校舎を利活用する。

2 観光拠点(道の駅)
整備事業

6380万円

新たな関係人口の拡大に向けて事業がスタート。再整備のコンセプトは「手漉き和紙と有機の里」。令和6年度のオープンに向け、設計や測量が始まる。

3 ゼロカーボンシティ
推進補助金

230万円

地球温暖化防止につながる設備等を導入した家庭に対して、3項目の補助制度を導入。ゼロカーボンシティ宣言の具現化が始まる。